

新型コロナウイルス感染症における第6波に相当する規模で、いきなり県内パンデミック発生を想定し、必要と考えられる人員数を試算する。

桑名保健所では第6波期間中の発生件数は9845人（最大225人/日）であった。ここから、感染対策を行う上で必要な業務ごとに班分けを行い、必要と想定される人員を算定する。なお、いったん交代要員などの余剰分を除いた数値を試算する。

想定する業務は次のとおり分解し、班ごとにまとめる。

○疫学調査班

- ・発生届の受理、サーベイランスシステム等への入力
- ・初回聞取調査、濃厚接触者の洗い出し、クラスター対応の適否
- ・自宅療養上の注意点等説明
- ・発生届及び聞取調査情報を市町、県庁調整班に報告

○クラスター対応班

- ・対象施設に対する、疫学調査と、必要に応じた感染拡大防止支援
- ・施設等に対する行政検査の要否について検討
- ・経過観察
- ・報道用資料を作成し、市町、県庁調整班へ報告

○行政検査対応班

- ・医療機関や、施設等を対象に、必要な行政検査の準備（実施）
- ・検体回収と検体搬入
- ・結果の記録とまとめ、陽性者の発生届の準備（医師の代筆作業）
- ・発生届を疫学調査班へ渡す

○濃厚接触者健康観察班

- ・濃厚接触者に対する聞き取り、および経過観察
- ・濃厚接触者への自宅待機上の注意点等説明

○入院調整移送班

- ・入院を要する患者情報を集め、県庁入院調整班へ報告
- ・患者移送の実施
- ・入院患者情報をまとめ、市町、県庁調整班へ報告

○市町、県庁調整班

- ・クラスター報告報道用資料を確認の上、県庁へ発信
- ・疫学調査班、濃厚接触者健康観察班、入院調整移送班からの情報を取りまとめ、各市町及び消防へ自宅療養者、濃厚接触健康観察中の住民情報を共有
- ・経過観察期間中である場合は、情報元である班に戻す

○相談電話対応班

- ・一般的な相談電話対応
- ・医療機関からの相談電話対応
- ・今後のFAQのために主な相談内容を積み上げる

○患者情報整理、勧告書発行等業務班

- ・随時、発行を行う
(経過観察終了後、陽性者情報を基に発行する)
- ・状況に応じて他班の支援に回る

作業人員算定 交代要員などの余剰無し (試算 案)

○疫学調査班 13名

初動の聞き取り 患者1人に対し、1.5hで算定。(1.5h/人:1単位)

第6波をR4.4~R4.6の3か月とし91日とする。

第6波管内発生数、9845人 最大225人/日

約10000人 ÷ 91日 ≒ 110人/日

110人/日 ÷ 1.5h ≒ 74単位

仮に9時間勤務とした場合 1人:6単位/日 消化。

74単位/日 ÷ 6単位/日 = 12.333...人

○クラスター対応班 4名

第6波の間に17件、1週間に1.3件発生。クラスター対応

現地調査ユニット:最低3人(現地調査2人、連絡調整1人)

後詰1人

○行政検査対応班 6名

検体回収搬送等ユニット:4人

検体記録依頼等ユニット:2人

○濃厚接触者健康観察班 12名

約10000人に対し、濃接健康観察対象は世帯で考える。

担当者の所管としては、患者数に0.4掛するぐらいが世帯数。(所感から)

(3~4人家族も多かったが、高齢独居、夫婦もそれなりにいたことから)

110人/日 × 0.4 = 44世帯

4000世帯 ÷ 91日 ≒ 44世帯/日

7日間の追跡調査のため

44世帯/日 × 7日 ≒ 300世帯 となる

1世帯に対し、20mで健康観察を行うと算定(20m/世帯:1単位)

9時間勤務とした場合、1人 27世帯/日 消化

300世帯 ÷ 27世帯 ≒ 11.11...人

○入院調整移送班 6名 車両2台確保できた場合

患者搬送:1ユニット2人を2ユニット 4人

調整連絡:2人

○市町、県庁調整班 3名

市町対応:1人

県庁対応:1人

総括:1人

○相談電話対応班 10名 2~3回線確保できた場合

初期であるため問い合わせが殺到すること、対応に時間がかかることから、

医療機関用回線:2人

住民対応用回線:5~8人

夜間相談電話:1人

※おそらく対応しきれないと思われるが、電話回線の限界もあるため

○患者情報整理、勧告書発行等業務 8名

情報整理:3人

勧告書発行業務:5人

※交代要員を考慮し、算出された数に、2割分を加える。

○疫学調査班 13名	→	15.6	≒	16名
○クラスター対応班 4名	→	4.8	≒	5名
○行政検査対応班 6名	→	7.2	≒	8名
○濃厚接触者健康観察班 12名	→	14.4	≒	15名
○入院調整移送班 6名	→	7.2	≒	8名
○市町、県庁調整班 3名	→	3.6	≒	4名
○相談電話対応班 10名	→			12名
○患者情報整理、勧告書発行等業務 8名	→	9.6名	≒	10名

計 78名/日

○管理職員 1名+職員 40名程度に対し1人の配置が望ましい
1名+2名 =3名

$$3+78=81 \text{ 名}$$

※なお、1か月程度この体制で対応するなか、DX関係に明るい職員によるシステムを構築し、ルーチン化の作業を進める必要がある。

これらの職員を含めた場合、さらに数名増員する必要がある。

以上試算した、数値に対し、派遣職員等の確保による業務が行われるまでの間、人員の確保、維持が必要となる。

令和5年度桑名保健所正規職員数は所長、室長を含め34名であり、桑名保健所の通常業務を行いつつ、対応する場合は、外部からの応援なくしては対応不能となる。

また、主担当課となる職員が各班の管理を行い、全体との調整役となるため、保健所の職員として増員する必要がある。

34人×50%=17人を感染症業務にあて、一部保健所業務を継続。

目標 81人—保健所実動 17人=64人外部支援